



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校
電話 059-378-0063
FAX 共用 059-378-0006
校長 山中 喜宏
https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

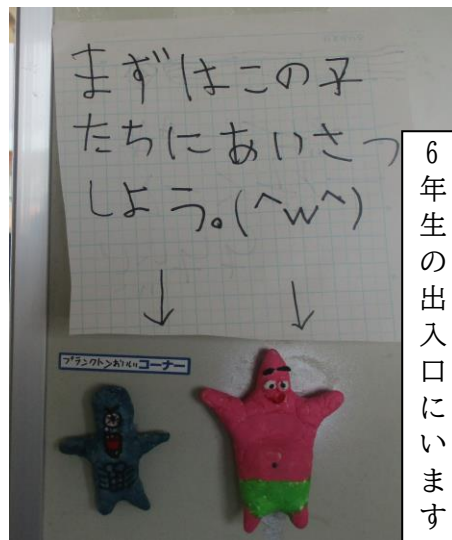
加小っ子だより

令和6年11月8日 No.25

11月に入り、朝晩もすっかり冷え込み、季節はすっかり秋ですね。

朝、登校の見守りをしていると、登校途中で低学年の児童が友だちにちょっかいを出しているところを高学年の児童が優しくたしなめている姿を見て、自分のことだけでなく、周りへの配慮ができる高学年の姿に成長を感じ、気持ちがあたたかくなりました。

さて、今回も引き続き、文化的な行事やさまざまな分野の講師先生をお招きしての体験学習や出前講座など、興味深い授業を行っていただきました。たくさんの大人に関わっていただき、子どもたちは多様な考えに触れ、実際に体験することで、興味関心を広げ、集中して活動し、達成感を味わうことでさらに成長しています。その授業の様子も含めご紹介いたします。



とうふってどうやってできるの？

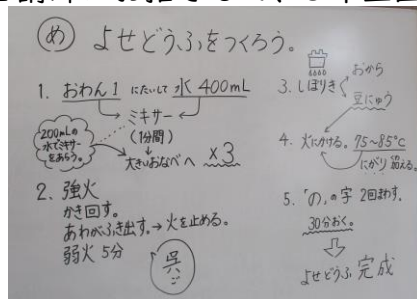
10月24日(木)・31日(木)の両日、Agri ロマン鈴鹿の方々に講師にお招きして、3年生国語の授業の発展学習として”とうふづくり”を体験しました。

子どもたちは、大豆をミキサーにかけて大豆をつぶし、それを鍋に入れて火にかけました。沸騰後、5分間弱火で煮たら火を止め、絞り機に入れ、絞って豆乳とおからに分けました。その後、豆乳ににがりを入れ30分間置いたら固まってとうふになりました。できたてのとうふをすくってみんなで食べました。とてもおいしくできました。

また、分離してすぐの味のついていないおからを試食し、どんな味がするのか確認していました。できたてのおからは、講師の方に卵の花に調理していただき、おいしくいただきました。

今後、国語の授業で「すがたをかえる大豆」を学習します。すがたをかえる大豆を授業で行う前に体験でき、国語での学びがさらに深まることと思います。

とうふづくりの授業後には、ふり返りを行い、とうふの作り方をまとめたり、大豆以外のかたちを変える食材を調べ、どのように変



わっているのかみんなに分かるようにまとめていました。

もし、お時間がありましたら、親子でとうふづくりやみそづくりなどにチャレンジし、「かたちをかえる大豆」や「かたちをかえる〇〇」を体感してみるのも楽しいかもしれませんね。



みんなで楽しく遊びました

2年生が、生活科の授業の一環で、おもちゃを作りました。みんなが作ったおもちゃで遊んでもらおうと、1年生を招待しました。2年生は、自分たちが作ったおもちゃで楽しんでもらおうと事前に招待状をつくり、1年生の前で来てもらえるように説明し、当日はわかりやすく遊び方を説明し、一緒になって楽しんでいました。1年生は、2クラスのお兄さんお姉さんと遊び、たっぷり楽しい時間を過ごしました。



先生たちも日々勉強しています

10月29日(火)に、教育委員会から指導主事を招聘し、授業研究を行いました。

はじめに、2年生算数の授業を参観してもらいました。その日の放課後、先生たちが集まり、授業の振り返りを行いました。振り返りでは、グループになり、よかった点や課題点を出し合い、先生方同士がコミュニケーションを取りながら、よりよい授業を深く探求していく研修となりました。

また、お招きした指導主事から、参観していただいた授業の改善点等について指導・助言をいただくとともに、鈴鹿市が目指している教育の方向性や取り組みについて教示していただきました。



フラワーパークフェスタ 2024

11月17日(日)10:00~14:00に加佐登地区まちづくり協議会主催のフラワーパークフェスタが開催されます。当日はお楽しみゲームなどのイベントがたくさん催されます。小学校でも全校児童にチラシを配布させていただきました。チラシについている「お楽しみプレゼント引き換え券」を持ってくると、プレゼントがもらえます。ただし、プレゼントがなくなり次第終了となります。いつもお世話になっている地域の方々が参加し、模擬店等を出されています。ぜひお家の人と足を運んでください。